仕事でも、遊びでも、光る機動力

8月19日は バイクの日

2輪車に再び光が当たってきた。長引く不況を背景にその経済性が見直されている他、東日本大震災直後は機動性にも注目が集まり、2011年の国内需要は6年ぶりに前年実績を上回った。追い風をとらえようと国内2輪車メーカー各社は入門者向けの新モデルを投入したり、女性ライダーを広げるためのイベントを開いたりしている。8月19日の「バイクの日」を前に、11年の2輪車市場を振り返りつつ、国内市場活性化に向けたメーカー各社の取り組みを探った。

東京・渋谷でイベント開催

「交通安全」呼びかけ

日本自動車工業会（自工会）と日本二輪車協会（NMCA）は19日、バイクの安全意識向上を呼びかけるとともに、楽しさを伝えるイベント「バイクの日スマイル・オン2012」を東京都渋谷区の児童向け複合施設「こどもの城」で共同開催する。

トライアルデモンストレーションや、子どもを対象とした体験教室を開くほか、俳優で映画監督の大鶴義丹氏、元GPライダーの平忠彦氏、中野真矢氏らが参加し「バイクで広がる世界」をテーマとしたトークイベントを実施する。また屋内会場には先行実施した「バイクの日 アートコンテスト」の応募作品（イラスト・絵画）を展示する。警視庁による交通安全教室も開く。

バイクの日は、10時から17時半までバイクにまつわる多彩なイベントが盛りだくさん。自工会は「家族が一緒にバイクの魅力に触れて、交通安全について考えてもらえる絶好の機会」とアピールしている。

11年の2輪車の国内需要実績は前年比5・1％増の44万4992台となり6年ぶりに前年比プラスとなった。車両区分別では「経済性と利便性が注目された」（自工会）ことで原付き一種（排気量50cc以下）が同11・2％増の25万7045台と伸び、全体の需要増のけん引役となった。

また注目すべきは同3・3％増の3万8883台となった軽二輪（同125cc超―250cc以下）。自工会は「近年スポーツタイプの需要が拡大し、底打ち感をみせた」と指摘する。

需要回復へ新モデル投入

価格抑え顧客開拓

需要回復の兆しをみせる国内2輪車市場だが、厳しい環境は続いており油断はできない。実際に自工会がまとめた12年の需要予測は同2・7％減の43万3000台に落ち着く見通し。

こうした中、2輪車メーカー各社は国内市場の勢いを継続しようと取り組みを積極化している。

価格を抑えた新モデルで新規ユーザーの開拓を目指す動きが活発化している。ホンダはレジャー向け2輪車の新モデル「NC700X」を2月に発売した。高い燃費性能と低価格との両立を図った新シリーズ「ニューミッドコンセプト」の第1弾。4月には「NC700S」と「インテグラ」を追加して発売した。ニューミッドコンセプトは熊本製作所（熊本県大津町）で全量を生産する。これまで同製作所で生産する2輪車の海外部品採用比率は10―20％だったが、NC700Xは40％にまで高めコスト競争力を高めた。

NC700Xのエンジン排気量は700ccでガソリン1リットル当たり41キロメートルの燃費を実現。価格はホンダの同排気量クラスの既存車種「VT750S」に比べ約10万円低い64万9950円からに抑えた。30―40代の男性に提案し、年3500台の販売を目指す。低価格を武器に「新たな顧客層の開拓」（ホンダ）を目指す。

7月にはスズキが、中国で生産する同250ccのロードスポーツバイク「GSR250」の国内販売に乗り出した。これまで同社は国内で同クラスのロードスポーツを販売していなかった。今回のGSR250は中国から輸入することで価格を43万8900円と割安に設定。エントリーモデルとして拡販し、年2000台の販売を計画する。

GSR250は12年1月に発売した世界戦略車。中国に投入済みで、今後、欧州や中南米での販売も計画している。スズキは同125ccのスクーターを台湾から日本に輸入しているが、ロードスポーツを輸入するのは初めて。GSR250は「バイク初心者でも街乗りからツーリングまで幅広く使えるように、乗りやすさと求めやすい価格にこだわった」（スズキ）とアピールする。

ホンダのNC700X

スズキのGSR250

ユーザー増やす取り組みも

レッスンや直営店活用

女性ライダーの取り込みを進めるのはヤマハ発動機。走行技術を高める研修とツーリングを組み合わせた女性限定の「ヤマハレディースライダーサポートレッスン」を4月に始めた。大磯プリンスホテル（神奈川県大磯町）を会場に午前中はスラローム走行、8の字走行などをレッスン。午後はツーリングに出かける。ホテルでのランチ、温泉露天風呂も楽しめる内容で女性に訴える。

1回の定員は15人で参加費は8500円。年数回の開催を予定する。ヤマハ発は「いろいろな場所にツーリングに行きたいという活動的な女性ライダーは増えていが、技術的な不安を抱える人もおり、サポートレッスンへのニーズは高い」とみる。また「レッスンをツーリング仲間を見つける機会として活用して」とアピールする。

直営店の展開でファンを増やそうと試みるのは川崎重工業。情報・サービス拠点「カワサキプラザ」を展開しており、6月には仙台店をオープンした。

カワサキプラザは90年に岡山市で1号店をオープン。その後、東京、静岡、福岡にも設置し、仙台店は5店舗目となる。「ほぼ全国の主要エリアをカバー」（川崎重工）する体制を整えた。

カワサキプラザでは基本的に全ての国内販売モデルを展示する。通常の販売店では試乗機会の限られるモデルも取りそろえ、購入前に実体験できるようにしている。またツーリングなどのイベントも行っている。

カワサキプラザは一般の販売店の見本となる役割も担う。周辺の販売店には最新モデルに触れられるショールームとしての活用を促している。また「メーカーである当社が直接ユーザーと商談できる貴重な場」（川崎重工）としており、価格や接客に関するユーザーの声を収集。理想的な販売店のイメージを把握して、一般の販売店の店づくりにも役立てている。

ヤマハ発動機は女性ライダー向けに「サポートレッスン」を実施

川崎重工業のカワサキプラザ仙台

乗る人の、そのこころを動かしたい。
私たちのものづくりの基準である「感動」は、
たとえばヘルメットの中に広がる表情の変化で表せるかもしれません。
かつて味わったことのないような驚きや歓び、あるいは沁みわたるような充足感―。
そうしたかけがえのない瞬間を、海で、陸で。乗る人の、こころを動かしたい。
感動創造企業・ヤマハ発動機。
YAMAHA
www.yamaha-motor.co.jp/
ヤマハ発動機株式会社

Photo:NC700X Dual Clutch Transmission〈ABS〉
Take Mid Easy.
http://www.honda.co.jp/NewMidConcept/
NC700X Dual Clutch Transmission〈ABS〉登場。
全タイプにローダウン仕様のTypeLDを設定。
PC http://www.honda.co.jp/NC700X/　携帯 http://dream.honda.co.jp/NC700X/
NC700X/NC700X TypeLD メーカー希望小売価格 ¥649,950（消費税抜本体価格 ¥619,000）
NC700X〈ABS〉/NC700X TypeLD〈ABS〉 メーカー希望小売価格 ¥699,300（消費税抜本体価格 ¥666,000）
NC700X Dual Clutch Transmission〈ABS〉/NC700X TypeLD Dual Clutch Transmission〈ABS〉 メーカー希望小売価格 ¥752,850（消費税抜本体価格 ¥717,000）
車体色：デジタルシルバーメタリック、パールサンビームホワイト、マグナレッド、ダークネスブラックメタリック
※TypeLDは、受注生産車です。※価格（リサイクル費用を含む）には保険料・税金（消費税を除く）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。
※価格は参考価格です。また一部地域では異なります。詳しくはHonda二輪車正規取扱店にお尋ねください。※本仕様は予告なく変更する場合があります。
PRO'S HONDA　Hondaの二輪車正規取扱店よりお届けします。
HONDA Genuine
中古自動車査定基準協会・会員
このマークが貼付されているご二輪車は楽家時にリサイクル料金のご負担はありません。Hondaが国内に販売したご二輪車は、2011年10月以降は、リサイクルマークの貼付が無い車両も廃棄時に伴たりリサイクル料金のご負担はありません。但し、廃棄二輪車取扱店に収集・運搬を依頼する場合の収集運搬費用はお客様のご負担となります。
2年保証　2005年2月1日以降にご購入のHonda二輪車には2年保証が適用されます。（Hondaが製造・輸入販売した新車が対象で、競技車両及び電動アシストサイクルを除く）※日常点検、定期点検は必ず行ってください。
Hondaロードサービス Honda二輪車（125cc超の新車）をお買い上げのお客様に24時間・365日の安心サポート「Hondaロードサービス」をプレゼントしています。（有効期間：1年間）
カタログご希望の方は、Hondaホームページ（PC http://www.honda.co.jp/motor/ 携帯 http://dream.honda.co.jp/motor/）の機種情報ページよりお申し込みください。
お問い合わせ、ご相談はお近くのHonda二輪車正規取扱店または右記のHondaお客様相談センターまで。（受付時間：9時～12時 13時～17時）フリーコール 0120-086819
バイクが好きだから、セーフティライド。
http://www.honda.co.jp/motor/
HONDA